

各関係機関団体の長  
各病虫害防除員 殿

福岡県病虫害防除所長

平成25年度病虫害発生予察注意報第2号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第2号（トビイロウンカ）を発表したので、送付します。  
本年はトビイロウンカの発生量が平年に比べて多く、一部では要防除水準を超えるほ場も認められています。

6月中～下旬植水稻の防除適期は、8月20～25日頃と考えられますが、5月中旬～6月上旬植では、盆前（8月5～10日頃）の発生量の確認が必要です。ほ場での発生状況の把握に努め、適期防除の徹底について指導願います。

**注意報 第2号**

1 対象作物：水稻

2 病虫害名：トビイロウンカ

3 発生地域：県下全域

4 発生時期：早

5 発生量：多

6 注意報の根拠

(1) 飛来状況

予察灯、ネットトラップ及びJPP-NET（（一社）日本植物防疫協会）からの「ウンカ飛来予測シミュレーションモデル」情報により、5月29～30日（第1波）、6月19～25日（第2波）、7月3～7日（第3波）、7月24～25日（第4波）の4回飛来が確認された。

また、主要な飛来日は、7月6日（第3波）と考えられた（平成25年度技術情報第1号参照）。

(2) ほ場での発生状況

県内48の定点ほ場における7月5半旬の10株当たりの払い落とし成幼虫数は平均2.1頭（平年0.3頭、前年0.2頭）で、平年・前年より多かった。

また、発生ほ場率も39.6%（平年14.9%、前年15.9%）で、平年・前年より高かった（図1）。

トビイロウンカが確認された19ほ場における齢期構成は、5月下旬～6月上旬植の6ほ場では各齢期の幼虫と成虫が、6月中～下旬植の13ほ場では若～中齢幼虫が主体であった（表1、2）。

また、飛来後第1世代の要防除水準（中老齢幼虫の合計が100株当たり20頭）を超えるほ場が確認されている。

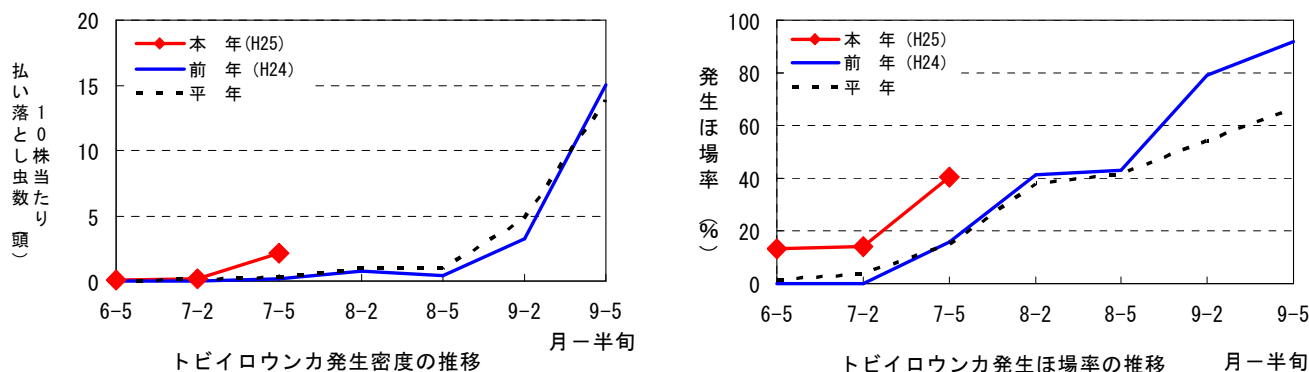


図1 トビロウカの発生密度と発生ほ場率の推移

(3) 今後の気象予報

福岡管区气象台が7月26日に発表した1か月予報では、7月27日～8月26日の気温は高く、降水量は少ないとされており、本種の増殖に好適な条件である。

7 防除上注意すべき事項

- (1) 本種の発生量はほ場間で大きな差があるので、各ほ場をよく巡回し、要防除水準を超えたほ場では早急に防除を行う。

<要防除水準：中老齢幼虫数>

飛来後第1世代：100株当たり 20頭以上（7月下～8月上旬頃）

飛来後第2世代：100株当たり 100頭以上（8月中～下旬頃）

飛来後第3世代：100株当たり 1,000頭以上（9月）

- (2) 6月中～下旬植水稻の防除適期は8月20～25日頃と考えられるが、5月中旬～6月上旬植では、第2波と第3波の両飛来波の定着が認められており、盆前（8月5～10日頃）の発生量の確認が必要である。

発生予想パターン図（図2）を参考にして、ほ場での発生状況の把握と適期防除に努める。

- (3) 防除に当たっては薬剤が株元まで届くよう散布し、散布後に防除効果を必ず確認する。

また、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

- (4) 無人ヘリコプターによる防除を、気温が高い時間帯に実施すると、薬剤の種類によってはイネの株元に到達する前に気化し、防除効果が著しく低下する場合がありますので、気温が高くなる前の早朝に実施する。

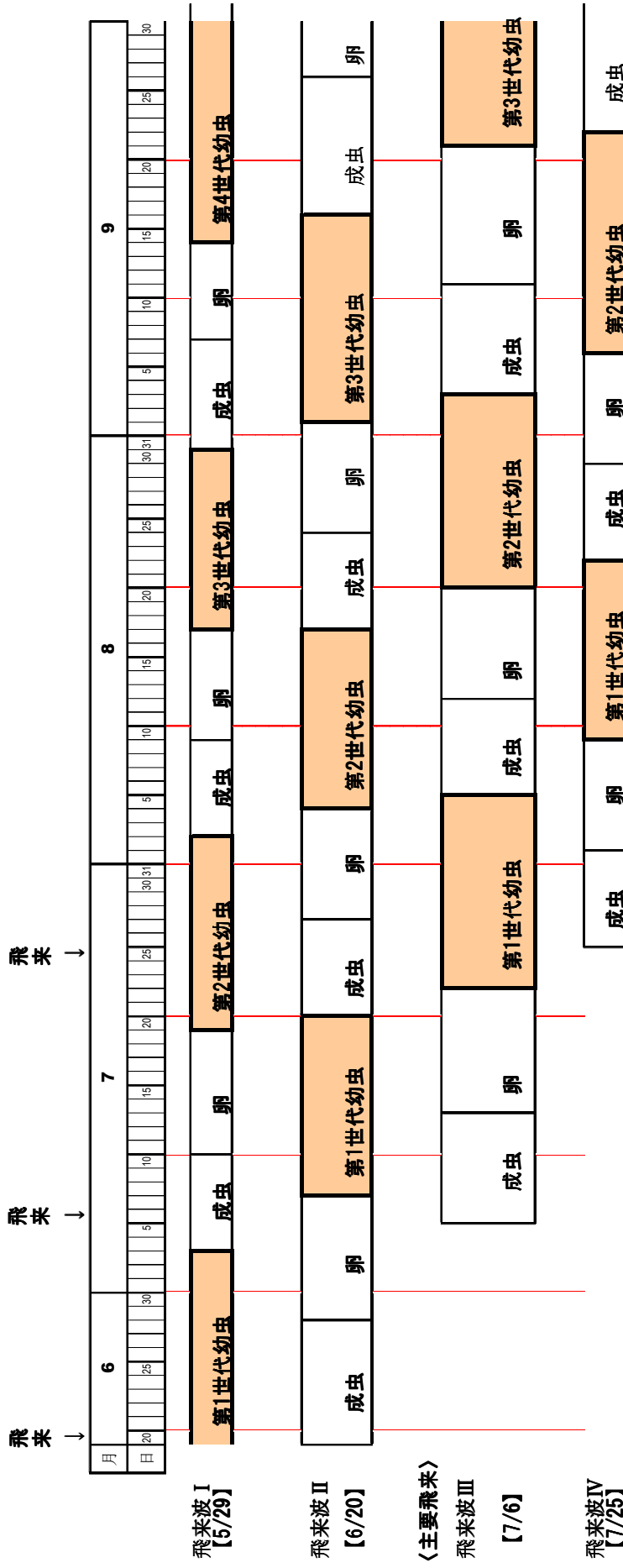
- (5) 今後の発生状況については、病害虫防除所ホームページ (<http://www.jpnp.ne.jp/fukuoka/>) を参照する。

表1 定点ほ場におけるトビイロウンカの発生状況（7月5半旬調査）

調査地点	移植日	品種	成虫	老令			合計
				中令	若令	若令	
福岡市早良区脇山	6月10日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
筑紫野市阿志岐	6月29日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
筑紫野市柚須原	5月18日	夢つくし	1.6	0.8	1.6	3.2	7.2
宗像市朝町	6月16日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
糸島市本	6月23日	つくしろまん	0	0	0	0	0
福津市勝浦	6月9日	夢つくし	0	0	0	0	0
久留米市宮ノ陣町	6月23日	元気つくし	0	0	0	0	0
久留米市太郎原	6月23日	元気つくし	0.2	0	3	2.2	5.4
久留米市田主丸町野田	6月17日	夢つくし	0	0	0	2.8	2.8
小郡市力武	6月10日	夢つくし	0	1.2	2.8	1.2	5.2
うきは市吉井町新治	6月23日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
うきは市浮羽町山北	6月23日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
朝倉市馬田	6月19日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
朝倉市田中	6月19日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
筑前町三輪野町	6月20日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
大刀洗町富多	6月20日	元気つくし	0	0	0.4	1.2	1.6
東峰村小石原	5月26日	夢つくし	0	0	0.4	0.4	0.8
東峰村福井	6月5日	つくしろまん	6	8.8	10	7.6	32.4
飯塚市秋松	6月16日	元気つくし	0	0	0	0	0
嘉麻市中益	6月15日	元気つくし	0	0	0	0	0
添田町落合	5月24日	夢つくし	0	0	0	2.8	2.8
糸田町打越	6月20日	元気つくし	0	0	0	0	0
大任町柿原	6月8日	夢つくし	0	0	0	0	0
柳川市大浜町	6月23日	元気つくし	0	0	1.6	4	5.6
八女市立野	6月20日	夢つくし	0	0	0	5.2	5.2
八女市黒木町木屋	6月18日	ヒノヒカリ	0	0	0	0.4	0.4
筑後市馬間田	6月26日	ヒヨクモチ	0	0	0	0.4	0.4
大川市北古賀	6月22日	ヒノヒカリ	0	0	0	2.8	2.8
みやま市瀬高町堤	6月25日	夢つくし	0	0	0	0	0
みやま市高田町江浦	6月15日	元気つくし	0	1.6	2	7.6	11.2
広川町川上	6月16日	夢つくし	0	0.4	0.8	6.8	8
大木町大溝	6月22日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
大牟田市宮崎	-	夢つくし	0	0	0	0	0
大川市一木	6月23日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
筑後市古島	6月19日	元気つくし	0	0	0	3.6	3.6
筑後市	6月19日	元気つくし	0	0	0	0	0
星野村池松	6月9日	つくしろまん	0.8	1.2	0	0.4	2.4
北九州市小倉南区曾根	5月27日	夢つくし	0	0	0.4	0	0.4
北九州市小倉南区合馬	6月25日	夢つくし	0	0	0	0	0
岡垣町手野	6月29日	元気つくし	0	0	0	0	0
遠賀町木守	5月25日	夢つくし	0	0	0	0	0
行橋市辻垣	5月27日	夢つくし	0	0	0	0	0
豊前市岩屋	5月15日	夢つくし	0	0	0	0	0
苅田町猪熊	6月7日	夢つくし	0	0	0	0	0
みやこ町勝山上田	6月7日	夢つくし	0	0	0	0	0
みやこ町徳政	6月18日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
上毛町土佐井	6月23日	ヒノヒカリ	0	0	0	0	0
築上町上り松	6月13日	つくしろまん	0	0	0.4	0	0.4

表2 定点ほ場（19地点）におけるトビイロウンカの齢期構成（7月5半旬）

移植時期	調査ほ場数	齢期構成（%）				雌成虫の短翅型率（%）
		若齢	中齢	老齢	成虫	
5月下～6月上旬	6	30.2	29.4	23.8	16.7	94.1
6月中～6月下旬	13	77.9	17.9	4.2	0.0	-



(注) (1) JPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションを用いて算出した。發育零点12.0℃、發育上限温度28.5℃、發育停止温度33.0℃、有効積算温度(成虫期間100.0℃、卵期間109.4℃、幼虫期間189.4℃)  
 (2) 気温はアメダス太宰府を使用した。

図2 飛来に基づくトビウカカの発生予想パターン図(平成25年7月26日作成)